

学力向上を図るための全体計画

東久留米市立南中学校

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 東京都教育目標
- 東久留米市教育目標

学校教育目標
 広い視野と豊かな想像力・表現力を身に付けるとともに、豊かな人間性や社会性を培い、国際社会に生きる自覚をもち、平和で民主的な社会の形成に貢献しようとする、誠実で実行力のある日本人の育成を目指す。また、創意工夫を生かした教育を行い、特色ある学校づくりを進めるため、次の目標を掲げて実践する。

- 生徒の実態
- 家庭・地域の実態
- 保護者の期待や願い
- 地域の期待や願い
- 教職員の期待や願い
- 期待される生徒像

- 1, 愛 「愛」の心を育てよう
- 2, 勉学 「勉学」に励もう
- 3, 自主性 「自主性」を伸ばそう
- 4, 健康 「健康」を育もう

- 【各教科】**
- ・ 生徒の個性や能力を伸ばす。
 - ・ 生徒の発達段階に配慮して基礎的、基本的内容を身に付けさせる。
 - ・ 好奇心や探求心、論理的な思考力を養う。
 - ・ 自分の考えを表現できる生徒を育成する。

学校の教育目標を達成するための基本方針
 「人権尊重の精神」を基本方針として、自他の生命を尊び、他者への敬愛や理解を一層深められる、人間性豊かで心身ともに健全な生徒の育成を目指し、生徒一人一人に「愛」の心を育てるための教育活動を展開する。

- 【ALTの活用】**
- ・ 英語において、国際社会を理解し、かつ、実践的コミュニケーション能力を育成するためALTを活用した授業を行う。

- 【指導方法の工夫】**
- ・ 生徒の学ぶ意欲を育てるため、興味・関心を引き出す「分かる授業」を展開する。
 - ・ 社会の変化に伴う諸課題に対応する力を育てるため指導方法の工夫と改善を進める。

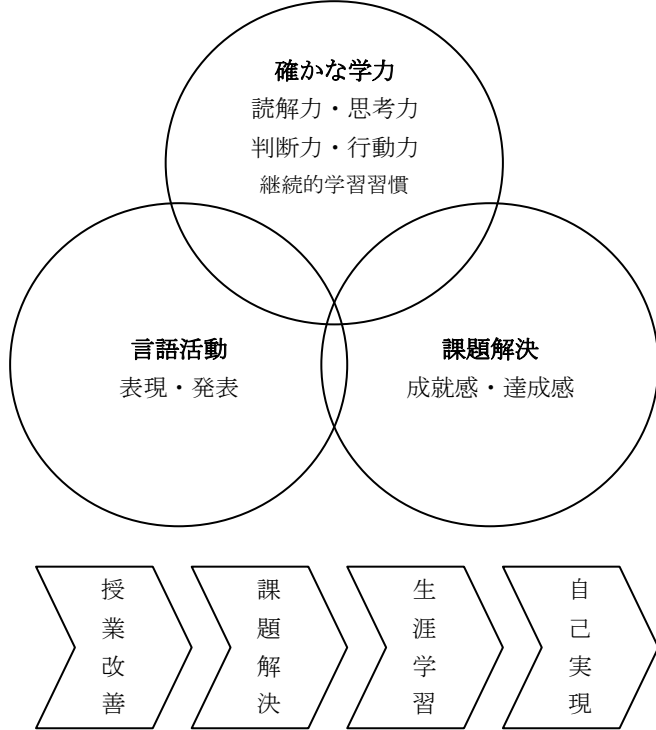
基礎基本の定着と確かな学力の育成

- ① 学習の基礎的、基本的な知識、技能の習得、思考力、判断力、表現力の育成を目指し、進んで課題を見付け、学び、考え、探求的に学習活動に取り組めるよう、また、言語活動を充実し、文章や言語で表現したり、発表したりすることができるように指導法の工夫に取り組む。

- 【朝学習モジュールの実施】**
- ・ 10分×120回の朝学習モジュールを実施し、基礎学力の定着を図る。
- 【生徒による授業評価の実施、授業改善推進プランの活用】**
- ・ 1学期末と2学期末の「生徒授業アンケート」で生徒や授業の実態を把握する。
 - ・ 「CRT学力検査」の結果も踏まえ、「授業改善推進プラン」を作成し、日々の授業改善に努める。

- 【指導と評価の一体化】**
- ・ 効果的な指導を行うため、生徒の実態に合った指導計画を作成する。
 - ・ 評価計画と評価規準を明確にし、指導と評価の一体化を進める。

育成したい学力



- 【表現・発表の工夫】**
- ・ 教科学習の内容に関して日常の発表の機会を設け、表現力を高める。
 - ・ 教科の特性に応じてレポートや図表にまとめさせる。
 - ・ 学級、学年、文化発表会で発表させる。

- 【コミュニケーション能力の伸長】**
- ・ 発言力・コミュニケーション能力の伸長と高い創造性を発揮させる。
 - ・ 各授業において、質の高い課題設定を行い、生徒に考えさせ、発言・発表させる機会を多くする。
 - ・ 日常的な活動においてグループワークを導入し、尊重し合い学び合い、高め合う機会を多くする。

- 【総合的な学習の時間の工夫】**
- ・ 総合的な学習の時間の年間計画に読書活動を定期的に位置付け、読解力の向上を図る。学習成果を作品としてまとめ発表させる。
 - ・ 第3学年において国際社会で活躍できる人間性や知性を身につけさせる機会を設ける。

- 【ICTの活用】**
- ・ デジタル教材、視覚教材を活用する。
 - ・ コンピュータを積極的に活用した情報教育を進める。今日の情報社会に対応するため、情報活用能力、情報モラルの育成に努める。

- 【基礎学力の充実】**
- ・ 英語、数学、国語において、スペリングコンテストや計算練習テスト、漢字テスト等を実施し、補充学習を通して基礎・基本の定着を図る。
 - ・ 全校統一漢字テストを行い生徒の意欲を喚起し、成就感、達成感をもたせる。
 - ・ 長期休業中に補充教室を各学年実施し、学習のつまずきの早期解消を図る。
 - ・ 小学校と連携して研修を行い、中一ギャップの解消を図る。